資料２

【共通様式】

令和９年度　福島区運営方針（素案）

（　所属長：　工藤　誠　）

「目標」「使命」及び「所属運営の基本的な考え方」

目標	福島区が「人と人とがつながり支え合うことにより、お子さんからお年寄りまで誰にとってもこれからも住み続けたいまち」となること。
使命	「ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）」の理念の下、人と人とのつながりを基盤として、防災・防犯、子育て・教育、福祉・健康の面で、区民が満足して暮らせるまちづくりに取り組むとともに、地元への愛着を育んでいく。
令和９年度 所属運営の 基本的な 考え方	区内ではマンション等の建設が進み、単身世帯や子育て世帯、人口の増加が続いており、古くからの伝統文化・行事が継承され、世代間の交流が深まる一方で、生活様式や価値観の多様化により、人とのつながりが希薄化している。 そうした中、南海トラフ巨大地震など災害発生時への対応をはじめ、子育て・教育環境の充実、今後増加していく単身高齢者への介護予防など、諸課題を解決し、安心して生活できるまちを実現していくには、世代を超えた互いの協力が必要である。 身近な地域や世代間でのつながりをはじめ、あらゆる場面での「つながり」をキーワードに、人と人とがつながる、「お子さんからお年寄りまでこれからも住み続けたいまち」となるよう、全力で取り組む。

重点的に取り組む経営課題

経営課題１　人と人とがつながるまちづくり

７決算見込額	36百万円	８予算額	36百万円	９予算算定額	36百万円

課題認識	・豊かなコミュニティを基盤として、各地域の町会組織や地域活動協議会による活動・行事がおこなわれているが、新しい担い手の参画が進まず、地域活動の担い手の高齢化が進行しており、一人のボランティアスタッフが複数の役割を持つなど、以前より負担が増えている。 ・地域で実施されている様々な活動について、掲示板や回覧板といった町会組織によるツールを活用して周知される機会が多く、町会への関心が薄いマンション居住の若いファミリー層まで伝わりにくい。
主な戦略 （課題解決の方策）	・豊かな地域コミュニティの実現と持続に向けた支援
評価指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	＜福島区内の地域活動協議会（略：地活協）構成団体に対するアンケート結果＞ 地活協に対して、地域の実情やニーズに即した区や中間支援組織からの支援が実施されていると思う地活協構成団体の割合：90%以上

評価指標 の達成状況	９年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成	前年度実績

【共通様式】

経営課題２　安全・安心なまちづくり					
７決算見込額	12百万円	８予算額	15百万円	９予算算定額	15百万円

課題認識	【防災】 ・災害時の自助共助の取組の重要性とともに、マンション住民が多い当区において、在宅避難の有効性と対応策（自宅での安全確保・備蓄・情報収集等）についてより多くの機会において啓発する必要がある。あわせて、地域住民による自主防災活動への参加・取組意識を高めるとともに、避難所の開設・運営や災害時等における要支援者支援など、自主防災組織の役割について学習や訓練の機会を充実させ、地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりに向けた協働を推進していく必要がある。 【防犯・交通安全】 ・令和３年以降、街頭犯罪の発生件数が増加傾向にある。また、近年特殊詐欺被害が、年齢層を問わず被害が拡大しており大きな課題となっている。 ・近年の人口増加に伴い、自転車利用者も増加しており、交通事故発生のリスクの増加や自転車の放置による安全で快適な生活環境の確保が難しくなっている。
主な戦略 (課題解決の方策)	・「自助」「共助」の防災意識を持った災害に強いまちづくり ・災害時等における要支援者への支援 ・犯罪が起こりにくい地域を作るため、地域や警察等と連携 ・放置自転車をはじめとした自転車マナー等に対する市民協働型の啓発
評価指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	＜区役所が実施する各地域での訓練や講座等に参加した区民に対するアンケート結果＞ 災害時における 「自助」「共助」の重要性を認識する区民の割合：90%以上
	区からの働きかけにより地域自主防災活動への取組意識を高め、避難所開設訓練に向けたワークショップ及び訓練を実施し、地域防災力向上を図った地域：５地域以上
	＜区役所が実施する区民まつりや出前講座等に参加した区民に対するアンケート結果＞ 福島区は安全安心で暮らしやすいまちと感じる区民の割合：85%以上
	地域や関係機関と協働した啓発キャンペーン：各自転車等放置禁止区域内で年１回以上実施

評価指標 の達成状況	９年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成	前年度実績

【共通様式】

経営課題３　次世代を元気に育むまちづくり					
７決算見込額	11百万円	８予算額	16百万円	９予算算定額	19百万円

課題認識	【子育て支援】 ・妊娠期から適切な助言や支援を受けることや、子育て中の親同士が交流したり、気軽に相談できる場の提供が必要である。 ・多様なライフスタイルに対応するため、保育施設や幼稚園などの情報提供や利用相談を行い、保護者の働き方を支援する必要がある。 ・健やかな成長のために、幼児期の適切な環境づくりが必要である。 【教育】 ・区内の学校や地域の実態を把握し、安全で安心できる教育環境の実現や、体力・学力の向上、キャリア教育の推進、不登校などの教育課題を解決するため、学校と連携し、学校教育の現場ニーズに対応した支援・取組を実施する必要がある。 ・児童数の多い大規模校に対する学校選択制における受入抑制の継続など、良好な教育環境の実現に取り組む必要がある。
主な戦略 （課題解決の方策）	・妊娠期からの切れ目のない子育て支援 ・幼児教育・保育環境の充実 ・小・中学生の学力・体力向上 ・不登校児童生徒への支援 ・小学校の良好な教育環境づくり
評価指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	＜３歳児健康診査時のアンケート結果＞ 「区役所の取組によって子育ての不安や負担感が軽減された」と感じている、子育て中の保護者等の割合： 90%以上
	＜保育施設などの利用相談に関するアンケート結果＞ 「相談や情報提供等が大変役に立った」と回答する保護者等の割合：80%以上
	＜学校協議会委員へのアンケート結果＞ 福島区内において、地域の実情に応じた教育が行われていると感じる学校協議会委員の割合：90%以上
	支援を実施した児童生徒に継続的な登校の再開や不登校の状態の改善がみられる割合：50%以上

評価指標の達成状況	９年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成		前年度実績

経営課題４　いきいきと健康に暮らせるまちづくり

７決算見込額	18百万円	８予算額	19百万円	９予算算定額	20百万円

課題認識	【地域福祉】 ・区内の人口増加、住民同士のつながりの希薄化、地域活動の担い手不足等が進むなかで、複雑化・複合化する福祉ニーズを受け止め、適切に対応できる体制づくりが必要である。また、一人暮らしの高齢者など支援が必要な人が地域で孤立しないよう、日頃から声かけや見守りを行うなど、支え合い助け合うことができる地域づくりを進めるため、「福島区地域保健福祉ビジョン」に基づき、多様な主体の連携・協働により、さまざまな取組を推進していく必要がある。 ・区民の介護予防に対する意識の向上を図り、介護が必要な状態をできるだけ予防し、自立した自分らしい生活を送ることにつなげる必要がある。 【健康】 ・区民の健康寿命の延伸に向けて、疾病の早期発見・早期治療につなげられるように、様々な健康関連事業を実施し、がん検診等の受診者数を増やしていく必要がある。
主な戦略 (課題解決の方策)	・「多様化する福祉ニーズ」を受け止め、適切に対応できる体制づくり ・住民同士がお互い気にかけ、つながり、支え合うことができる地域づくり ・介護予防の更なる推進 ・「健康寿命」の延伸をめざした取組の推進
評価指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	＜高齢者食事サービス、ふれあい喫茶などの地域福祉活動に参加した区民に対するアンケート結果＞ 介護や障がいなど、さまざまな福祉に関するお困りごとを相談できる相談先を知っている区民の割合：70%以上
	＜高齢者食事サービス、ふれあい喫茶などの地域福祉活動に参加した区民に対するアンケート結果＞ 身近な地域で「声かけ」「見守り」「助け合い」「支え合い」を感じている区民の割合：80%以上
	＜高齢者等が集まる講座などに参加した区民に対するアンケート結果＞ 介護予防の意識が高まったと思う区民の割合：90%以上
	特定健康診査の受診率及びがん検診の受診者数：前年度の数値を上回る

評価指標の達成状況	９年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成	前年度実績

経営課題５　地元への愛着を育むまちづくり					
７決算見込額	28百万円	８予算額	36百万円	９予算算定額	35百万円

課題認識	・地元を誇れる名所、旧跡などを知ってもらうため、効果的に情報を発信する必要がある。 ・各種事業を開催する際には地域等と連携し、人とのつながりの大切さを感じ、まちへの愛着を持つ機会となるよう工夫する必要がある。 ・住民の美化意識に対する参加機会が不足しており、清掃活動事業の周知啓発等の働きかけが十分ではない。
主な戦略 （課題解決の方策）	・福島区の魅力を発信 ・愛着をもてるまちをめざし、地域等と連携した事業を展開
評価指標 （経営課題の解決に向けた進捗度合を示した指標）	ＬＩＮＥ（大阪市政策企画室）の福島区登録者数：3,350人以上
	＜区役所が実施する「区民まつり」や「のだふじまつり」などの事業に参加した区民に対するアンケート結果＞ 福島区への愛着をもち、住み続けたいと感じる区民の割合：90%以上
	＜区役所が実施する「ふくしまてんこもり」や「ノダヤオン」に参加した区民に対するアンケート結果＞ まちの美化への関心が高まったと感じる区民の割合：90%以上

評価指標の達成状況	９年度実績と達成状況　※A：達成　B：未達成		前年度実績

自己評価 （運営方針全体の定性評価）	

今後の方針	